座長 矢澤祐史の ありのまま、心のまま vol.13

生きる伝説に出会う旅

ワンネスグループのあらゆるプログラムの最大の目的、
それは、幸運の方が向こうからやってくる状態へと、あなたを導くこと。

たとえば誰かから何かをされたり、言われたりしたことの怒り。

「あの人が、ああ言ったから私の心が傷ついた」と、自分を正当化していませんか？

人はどうしても、自分へのこだわりで、時にクヨクヨしてしまいます。
しかし本当に必要なのは、「自分へのこだわり」を捨てて、
視野を広げることだと私は考えます。

これから渡米し、LA、ビック・サー、サンタクルーズ、フェニックス、セドナ、ツーソン、ダラスと回って…日本の金沢へ。アメリカ国内でも気候は様々、荷造りが難しいです。

ロクサーナ・エリクソン博士、アーネスト・ロッシ博士、セリーン・ベガ博士、ジュディス・ディロージャー氏、ジョーゼフ・キャンベル財団理事長のロバート・ウォルター氏、ファインディング・ジョー監督バット・ソロモン氏など、名だたる方々との交流の旅です。

さて、この旅で僕の視野は
どこまで広がっていくのでしょうか。
未知の旅に、自分でもワクワクしています。

金沢では家族と合流し、温泉へ行ってきます。
沖縄発のアメリカ周遊からの金沢。
依存症になってよかったとつくづく思います。

ONENESS　MIND　ゲストコラム

ワンネスグループに縁のある方からのメッセージをお届けします！

vol.9

沖縄・那覇市
みえばしクリニック院長
長崎文江さん

●Profile
1990年に琉球大学医学部を卒業、沖縄での精神科勤務医を経て、2002年11月より『ハートセラピークリニック』院長、2011年9月より『みえばしクリニック』院長、同時に女性や子どもの問題とも向き合っている。
http://www.miebashi.com/

皆さま、こんにちは。『みえばしクリニック』は、平成25年３月より、ワンネスグループの協力医療機関としてお付き合いをさせていただいています。実を申しますと、女性が中心のクリニックであることもあり、開業以来、アルコール依存症や薬物依存症の治療はお断りしていたのですが、営業でいらっしゃったワンネスグループの女性スタッフさんの熱意に打たれ、協力医療機関を引き受けました。

依存症の根底には、自尊感情の欠如や共依存を含めた対人関係の障害、情動と衝動統制の問題などがあると思いますが、医療だけでは対応困難なことに、半ば諦めの気持ちがありました。沖縄県女性相談所（DV 相談センター）と、中央児童相談所の嘱託医を数年間務めたこともあり、どちらかというと被害者支援が中心で、加害者支援は避けてきたのですが、ワンネスグループと関わるようになって、私の中でも意識が変わってきました。
相談に来る方たちの経歴を聴きながら、サバイバーとしての強さや依存症にならざるを得なかった状況を感じます。そして、スタッフの皆さまがカウンセリングの基礎がしっかり身についており、入所者の方々を支えていることに感心しています。お蔭で私は診療だけに専念でき、時々、クライアントの方と会話を楽しむ余裕もあるくらいです。
回復への道のりは十人十色ですが、人と人が繋がっている限り、必ず回復します。自分が何者かを知り、自分を解放（開放）し、歌う如く踊る如く軽やかに生きていけるようになってください。私自身もまた、そのようにありたいと思っています。

～ONENESS GROUPにご支援を～

平素はワンネスグループの活動に、ご理解、ご協力をいただきありがとうございます。皆さまの温かなご支援は、私たちの活動の励みです。今後ともよろしくお願いいたします。

【献金してくださった方（五十音順）】
青木みどり様／あかむね法律事務所　赤宗桂一様／安齋幸江様／石橋和幸様／井上福子様／大阪水上バス株式会社様／大須賀克爾様／大橋登喜子様／岡本光正様／奥田淳子様／カーブス様／香川英司様／梶川虔二様／粉谷ひとみ様／加藤道子様／株式会社 呉竹様／蓜部恵子様／財津精一様／佐伯津紀枝様／柴田敦代様／島しづ子様／松竹芸能株式会社様／杉本哲夫様／鈴木幸二様／高内義彦・正恵様／高木篤司様／高橋博美様／田口大輔様／田中浜代様／中宮寺　日野西光尊様／土居武彦様／奈良総合法律事務所　内橋裕和様／奈良総合法律事務所　荒木秀夫様／奈良総合法律事務所　倉橋毅至様／奈良総合法律事務所　東稔忠幸様／なら法律事務所　朝守令彦様／橋本宏様／廣田美知子様／福井ヒデ子様／福原潤子様／前田芙美子様／松﨑敦子様／村西黄宝様／森美紀様／森田安枝様／矢野隆彦様／有限会社　川西ウィング様／弓中香織様／横田誠様／和田多恵子様／YOGA·SHANTI　坂上恭子様…その他匿名の方

【献品して下さった方（五十音順）】
角富美子様／福岡美恵子様／藤田利朗様／㈱デザンダ　田山康子様…その他匿名の方（10月15日分まで掲載）

Local　Activity　in 奈良

フラワーガーデンが地域の清掃活動に参加しました。

10月16日、フラワーガーデンがある地域の清掃活動に、スタッフやクライアントと一緒に参加させていただきました。まだまだ暑い日でしたので、汗を拭きながら、一生懸命、体を動かしてきました。キレイになっていくだけで、気持ちもすっきりしますし、地域の方から「おつかれさま。ありがとう」と声をかけていただけることもうれしいです。開所から2年が経ち、フラワーガーデンの活動にも理解を示してくださり、顔なじみの方も増えてきました。もともとはこの地域に暮らしていたわけではない私たちですが、縁あってこの土地に引き寄せられました。心の故郷として大切にしていきたいと思っています。
　写真は最近、植え替えをした施設の花壇です。一人ひとりが心の花壇にその人らしい花を咲かせられるよう活動を続けていきます。

★献金はこちらへお願いいたします★
ゆうちょ銀行　店名）四五八　店番）458　普通口座）0387467
口座名）ワンネスグループ依存症関連問題基金

【編集人】
Healing Garden Care Center 代表：矢澤祐史
〒635-0065 奈良県大和高田市東中2-10-18
TEL0745-22-0207 e-mail:info@garden-ag.org

【発行人】
関西障害者定期刊行物協会
〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4階
定価:100円

イベント情報

【すべてのお問合せ】
TEL0745-24-7766（ワンネスグループ本部）／http://oneness-g.com

ワンネスグループでは全国各地で依存症に関するイベントを行っています。詳しくは各イベントのチラシ、またはワンネスグループのホームページをご覧ください。スタッフ一同お待ちしております！ ぜひお近くの会場へお出かけください！

★依存症を知るセミナー★

□関西地区
【京都・京都市】12月10日（土）13:30～16:30
京都社会福祉会館第1会議室（京都市上京区堀川通丸太町下る）
【大阪・中央区】12月24日（土）14:00～16:00
ドーンセンター中会議室2（大阪市中央区大手町1-3-49）
【奈良・奈良市】11月29日（火）14:00～16:00
※ギャンブル依存症セミナー
エルトピア奈良小会議室1（奈良市西木辻町93-6）
【奈良・大和高田市】2017年1月28日(土) 18:30～20:30
大和高田市 市民交流センター コスモスプラザ 多目的室
（大和高田市片塩町12-5）

□東海・北陸地区
【石川・金沢市】11月26日(土)13:30～16:45
金沢商工会議所研修室2（金沢市尾山町9-13）
【岐阜・岐阜市】12月21日(水)13:30～16:30
岐阜市文化センター第1会議室(岐阜市金町5-7-2)

□関東地区
【東京・千代田区】12月19日(月)18:45～20:30
アクセア貸会議室半蔵門ビル5階第2会議室
（千代田区隼町2-13）

□四国地区
【徳島・徳島市】2017年1月28日(土)18:45～20:30
シビックセンター４階活動室3(徳島市元町1-24)
【高知・高知市】2017年1月29日(日)14:00～16:00
ちより街テラス貸会議室１（高知市知寄町2-1-37）

□沖縄・九州地区
【福岡・福岡市】2017年1月9日（月・祝）13:30～15:30
正友ビル3階（福岡市中央区天神4丁目5-20）
【沖縄・石垣市】12月9日（金）13:30～15:30
石垣市健康福祉センター２階視聴覚室(石垣市登野城1357－1)
【沖縄・那覇市】
12月17日（土）、1月21日（土）18:30 ～ 20:30
沖縄県総合福祉センター３階視聴覚室
（那覇市首里石嶺町4-373-1）
【沖縄・宮古島市】2017年1月14日（土）13:30～15:30
宮古島市中央公民館2階視聴覚室
（沖縄県宮古島市平良字下里315）

★セレニティパークジャパン名古屋フォーラム★
「トラウマ、依存症、そして回復」
【愛知・名古屋市】12月3日(土)12:00～16:30
栄ガスホール 栄ガスビル5階(名古屋市中区栄3-15-33)
参加費：無料（当日資料代として1,000円）

メディアで紹介されました！

ワンネスグループの活動が、新聞やテレビなどで紹介されました。
グループのホームページでは記事をご覧いただけます。 **http://oneness-g.com**

新聞・雑誌	9月 5日	週刊文春／元俳優覚せい剤逮捕に関してのコメント
	9月10日	宮古新報／ギャンブル依存症を知るセミナー in宮古島　依存症の影響など学ぶ
	9月13日	宮古毎日新聞／ギャンブル依存症を知るセミナー in宮古島　依存症の影響など学ぶ
	10月22日	大阪日日新聞／大阪でのギャンブル依存症セミナー レポート
	10月26日	スポーツ報知／元女優大麻所持逮捕に関してのコメント
テレビ	9月 1日	テレビ朝日「グッド！モーニング」／元俳優覚せい剤逮捕に関してのコメント
	9月 7日	朝日放送「キャスト」／家族がこわれてゆく10代の薬物汚染
	9月 7日	九州朝日放送「ニュースピア」／特集「大麻回帰」
	9月15日	毎日放送「ちちん ぷいぷい」／元俳優覚せい剤逮捕に関してのコメント
	9月21日	沖縄テレビ「みんなのニュース おきCORE(コア)」／ Life ギャンブル依存症～ラーメン店から再出発～
	9月22日	名古屋テレビ「UP ！」／ゲキ迫　ギャンブル依存症からの脱却
	9月29日	琉球朝日放送「ニュースQプラス」／つながる×依存症依存症からの回復へ家族の思い
	10月28日	テレビ大阪「ニュースリアルKANSAI」／ギャンブル依存症（セレニティパークジャパン奈良への取材）
ラジオ	毎週火曜 9:40頃～	FM沖縄「Fine!」／「リカバリーアライブ　依存症を生きる」 ※大城勝太さんパーソナリティの番組内で、SPJ沖縄スタッフが出演中
	毎週木曜18:00 ～ FMレキオ（那覇市）	／「リカバリーアライブ　依存症からの贈り物」 ※回復についてじっくり語る1時間

取材のお問合せ・お申込み　ワンネスグループ本部 TEL 0745-24-7766

2000年12月12日第三種郵便物承認毎月（1・2・3・4・5・6・7・8）の日発行
2000年12月12日第三種郵便物承認毎月（1・2・3・4・5・6・7・8）の日発行

KSKS GARDENの記録

～自分を好きになることから始めよう～

Oneness Mind

ワンネスマインド

vol.13

依存で困ったらワンネス　検索

薬物、ギャンブル、アルコール依存症回復のエキスパート
ONENESS GROUP
ワンネスグループ

依存症でお困りならご相談ください。

依存症相談ダイヤル（受付時間／月～金曜10:00～17:00）
0120-111-351
依存症SOS相談メール:sos@oneness-g.com

LINE公式アカウント開設!!
ID「@oneness-g」で検索を!
私たちとつながりましょう!!

2016年、ワンネスグループのエネルギーが、各地へ伝播した年。

　本年も残りわずかとなってまいりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。今年は寒い冬になるとの予報が出ています。これから一気に寒くなると、インフルエンザなどの流行性の病気も増えてきそうですね。心も身体も健やかに。どうぞご自愛くださいませ。

●マンダラ・オブ・ビーイング（TM）を実施
　さて、去る10月26～30日の5日間、東京にて、アメリカのセラピスト、リチャード・モスさんの本邦初のワークショップ、「マンダラ・オブ・ビーイング（TM）」を開催いたしました。初日となる26日の夜には、前夜祭としてイブニングセミナーを、27～30日までの4日間でワークショップを行いました。
「マンダラ・オブ・ビーイング（TM）」のマンダラとは、まさに仏教の曼荼羅で、悟りの境地や世界観を図示したものです。ビーイングとは「存在」、「そこにあること」という意味。つまり、「マンダラ・オブ・ビーイング」は曼荼羅の絵図を利用して、自分の「存在」を深めるためのワークです。
　曼荼羅では、中央と周囲（円形）に仏様やシンボルを配置しますが、モスさんのワークでは中央に今、四方に自分・他者・過去・未来を配置します。モスさんは、「我々には『ここ・今』しかない」とおっしゃいます。しかし、私たちが自分や他人、過去や未来について自分に言い聞かせたり思い込んだりしていることにとらわれると、「ここ・今」に宿る自分の気づきや意識の力を失い、ビリーフの生むネガティブな感情にとらわれてしまいます。それから逃れるために薬物、アルコールやギャンブルに依存する人もいるとモスさんはおっしゃいます。
　マンダラの中で四方と中央で位置を変え、ビリーフや感情にとらわれた状態になりきったのちに、それらがない状態や対極の思考の中にいる状態を疑似体験することで、自我に気づきを持たせて、意識的に状況を照らし出せるようになります。実際に参加された方は、この体験的ワークのてき面な効果を実感されていたようです。紙面でしかご紹介できないのが残念です。本紙の中でワークショップのレポートを行っていますので、そちらもお読みください。
　モスさんが米国などで実施されている10日間ほどのリトリート（キャンプ形式のワークショップ）では、一層深く自分の内面を探求するワークが行われるそうです。来年以降、自然あふれる沖縄で、このシンプルながら深淵な可能性を秘めたモスさんのプログラムを進めていきたいと考えております。ご期待ください。

リチャード・モス先生と

●リチャード・グレイ博士が再び日本へ
　さて2016年の学びの機会を締めてくださるのは、今年1月にお越しいただいたリチャード・グレイ博士です。12月3日（土）にセレニティパークジャパン名古屋フォーラムと、翌日より奈良でワークショップが開催されます。前回の来日時にはその温かなお人柄で、愛情のつまったワークショップになりました。ぜひお誘い合わせの上、ご来場いただきますようお願い申し上げます。

●今年も充実した一年となりました
　最後になりましたが、今年も大変お世話になり、本当にありがとうございました。心より感謝を申し上げます。昨年10周年を迎え、ワンネスグループ自体のリスタートの一年としてスタートした2016年。メディアに取り上げられることも増え、さまざまな出会いを重ね、現在、クライアントは140名、スタッフ60名という大きな家族に成長しました。沖縄には『沖縄GARDEN』が設立され、雇用創生の場である『拳玉 沖縄』（飲食店）もオープンしました。
　プログラムでも海外講師の方々のご指導のもと、多角的かつ、画期的に進化を続けています。回復支援の方法論が増えることは何よりもの喜びであり、ワンネスプグループの使命を果たすことにも繋がります。加えて、内閣総理大臣の夫人である安倍昭恵さんの来訪もかない、年明けに東京で行われるフラワーガーデンフォーラムでは講演をしていただけることになりました。これもひとえに表に影にご支援くださっている皆様の想いの賜物です。2017年もよろしくお願い申し上げます。

2016年11月
一般財団法人 ワンネスグループ
代表理事 矢澤祐史

ONENESS GROUP ワンネスグループ　**ワンネスグループのエネルギーは、今、全国に広がっています。**

一般社団法人 GARDEN（奈良）
薬物・アルコール・ギャンブルなどの依存症治療共同体

日本ファミリーインタベンションセンター（奈良・名古屋・沖縄・東京）
本人を説得し治療へ繋げるサポート
依存症家族のための相談窓口

一般社団法人 セレニティパークジャパン（奈良）
ギャンブル・アルコールなどの依存症治療共同体

一般社団法人 セレニティパークジャパン（名古屋）
薬物・アルコール・ギャンブルなどの依存症治療共同体

一般社団法人 セレニティパークジャパン沖縄（那覇・南城）
薬物・アルコール・ギャンブルなどの依存症治療共同体

フラワーガーデン（奈良）
女性専用の依存症や生きづらさなどの依存症治療共同体

Report 1

リチャード・モス医師が初来日し、ワークショップ開催。「今、ここを生きる」術を身につける、気づきの力を実感して。

本質的な変化のためのディープワーク マンダラ・オブ・ビーイング(TM)が大好評のうちに終了

イブニングセミナー／ 10月26日（水）
マンダラ・オブ・ビーイング(TM) 1日コース／ 10月27日（木）
マンダラ・オブ・ビーイング(TM) 4日間コース／ 10月27日（木）～ 30日（日）in東京

人間は過去に起こった出来事や、未来への不安、自分以外の者や世界との関係性の中で「今」を生きています。その中では自分自身に言い聞かせていることや、思い込みに、知らずのうちにとらわれ、いきいきと生きる力を失ってしまう場合が多くあります。そのネガティブなこう着状態を、仏教にあるマンダラを用いて「ここ・今」の瞬間にスポットをあて、自分自身に気づきをもたらすことで抜け出す術を、アメリカより、リチャード・モス医師が伝えてくださいました。大好評のうちに終了しました「マンダラ・オブ・ビーイング(TM)」の様子をレポートします。

初めて日本へお越しくださったモス先生ですが、期待とともに集まった会場の皆さんと一瞬にして打ち解ける、人間としての大らかさ、紳士的な雰囲気が印象的でした。「マンダラは仏教の悟りに至る、修行のプロセスを描写した神聖なアート」と紹介してくださり、ワークショップはスタート。日本には仏教文化が根付いていることもあり、マンダラはわかりやすいテーマだったようです。参加者の皆さんも最初こそ、緊張されているようでしたが、すぐにご自身をワークショップの中でのびのびと表現されるようになりました。

私たちは普段、いつも頭の中で物事を考え、感じることが多いですが、「ここ・今」への意識に、身体感覚を用いて学ぶことこそが、本質変化のために必要であることを伝えてくださいました。実際に身体を使うワークが多く、日を追うごとに、参加者の皆さんの動きがよくなり、表情もいきいきと変化されたことに即効性が感じられました。

今回は4日間での開催になりましたが、「もっと深く学びたい」という参加者の方の声を多くいただいたこともあり、2回目の開催を来年予定しています。モス先生はアメリカでは、10日間ほどかけて、もっと深く自分の内面にアプローチするワークショップも行っているそうです。次回もさらに深いテーマでお送りいたしますので、ご期待ください。

本人やご家族が心の問題を抱えている方には、「何が問題を難しくしているのか、当事者を縛っているのか」が、わかりやすかったとの感想を多くいただきました。

過去と未来、自分と他人という要素を結び付けて、自分自身のマンダラを表現していきます。モス先生、ハリウッド俳優のようにダンディです。

総勢50名の方が参加してくださいました。参加者の方も打ち解けて、わきあいあいとした雰囲気。参加者の方が仲よくなるのもJAAI講座の魅力です。

★受講者の方の感想★

今、エンプティネスであることの大切さに立ち返りました。先生の40年の積み重ね、経験、それ以上の年数、対人サポートをされてきた厚みに心震えました。リチャード・モス先生を日本へ呼んでいただいて、ありがとうございました。（松川邦之さま）

リチャード・モス先生のセミナーを受講できて、素敵な4日間でした。セミナーでのワークがまだ十分理解できていないところがありますので、また来日されたら受講したいです。リトリートも期待しています。
「マンダラ・オブ・ビーイング」は根源的なワークなので、すべての問題を解決できる、比較的シンプルで深い内容だと思いました。スタッフの皆様にお礼申し上げます。（萩原優さま）

私たちは日常、思い込みを信じて生きていることを改めて実感しました。思い込みのひとり言に振りまわされそうになったら、「NOW」に戻って自分を取り戻していけたらいいなと思います。愛に満ちた場で、安心して自分を表現することができました。ありがとうございました!!（りんごさま）

今回のワークは深い気付きと、自分の問題に対し、すぐに効果を得ることができました。気付きという点では、とても深いレベルの気付きで、それはこの先ずっと役立つものだと思います。「今、ここ」を大切に生きることを学べました。（Yさま）

イブニングセミナーを受けることができて光栄でした。新しい自分のポジションに入った時、思考が止まった感覚を体験できたのはプレゼントでした。今回はこの2時間しか参加できなかったのですが、とても充実していました。心からの感謝を込めて。（K.Sさま）

モス医師のマンダラに自分の身を置くことで、体の状態に変化が生じるのを感じました。どうせ変化するなら自分がよりリラックスして、より力みなぎるように変化したいし、思考したいですね。明日からの仕事、生活にも今日の成果を活用していきます。（花らっ京さま）

その他、多くのご感想をありがとうございました。

Information

2017年も魅力的な学びのプログラムを続々とお届けします!

JAAIセミナーラインナップ

日本アディクション・インタベンショニスト協会（JAAI）では、今後も皆さまに海外のすばらしい先生方によるプログラムの提供を予定しています。初来日された講師が、2回目、3回目と継続できる環境が整ってきました。新しい講師との出会い、また大好きな講師との再会を楽しんでいただければ幸いです。今後も日本の依存症問題解決のプログラム、対人支援プログラムに新しいエッセンスをお届けします。詳細はワンネスグループのホームページ特設サイトや、メールマガジンでご確認ください。

2016年12月　リチャード・グレイ博士
ブルックリンプログラム in 奈良
12月4日（日）・5日（月）ブルックリンプログラム「レベル１認定コース」※認定資格取得可能
12月7日（水）・8日（木）ブルックリンプログラム「アドバンスト認定コース」※認定資格取得可能
12月9日（金）～11日（日）アーキタイプ ヒーローズ・ジャーニー ワークショップ
今年１月に開催され、大好評だったリチャード・グレイ博士が再来日！
やめたくてもやめられないことを手放すために。

2017年４月　セリーン・ベガ博士
ソマティックトランスワーク in 沖縄
４月21日（金）～23日（日）
癒しの大地、沖縄・ガンガラーの谷にて開催。身体の動きによって心の波動を整える、スピリチュアルな深い癒しの体験。
※詳しくは、今号同封のチラシをご覧ください。

2017年７月　ジュディス・ディロージャー氏
ワークショップ１日 in 東京　７月17日（月・祝）
ワークショップ４日間 in 東京　７月20日（木）～23日（日）
NLP におけるさまざまなプログラムを開発した重鎮、ジュディス・ディロージャー氏によるワークショップ。対人支援に携わるすべての方におすすめです。

2017年10月
エリクソン催眠 2017in 東京
10月６日（金）～９日（月・祝）、13日（金）～16日（月）
催眠療法の大家、ミルトン・エリクソンのご息女、ロクサーナ・エリクソン・クライン博士をお迎えして開催する３回目のワークショップ。

2017年12月
ソーシャルパノラマ® in 東京
12月９日（土）～11日（月）、16日（土）～19日（火）
メンタルスペース心理学のソーシャルパノラマ® を当講座で学んだ方が、講師として国内で活躍を広げています。ルーカス・ダークス博士、３度目の来日。ブラッシュアップにもぜひ。

Report 2

フラワーガーデン、初めての北海道フォーラム、「私らしさを見つけ、私が輝く」開催。

11月6日（日）in札幌

○初めての札幌、伝えたかった思い

11月6日、スタッフやクライアントとともに準備を重ねてきた「フラワーガーデン設立２周年記念フォーラムin札幌」を無事に開催いたしました。テーマは「私らしさを見つけ、私が輝く　～あなたらしく、あなただけの花を咲かせて～」。地元を離れての初めてのフォーラム、広報やPRなど、北海道にいらっしゃる関係者の方々とのネットワーク作りからスタートした手作りのフォーラムとなりました。初めてフォーラムを開催する地、初めてお会いする方も多く、あらたな出会いに緊張とうれしさで胸がわくわくしました。

今回のフォーラムでは、フラワーガーデンの仲間たちが回復に取り組んでいる姿を通して、「依存症から、必ず回復できる」ということ、伊藤順子さんの講演を通して、自分らしく輝くことの大切さ、映画「ザ・ハンティング・グラウンド」の上映を通じて、性被害から立ち上がり、現代社会の闇と向き合って社会を変えていこうとする女性たちの力強い姿を、皆様にお伝えしようと考えていました。

当日、大雪が降りスタッフが１名会場入りできないという雪国らしいハプニングが起きましたが、スタッフとクライアント６名で、今ここに、来てくださる皆さんへ、最高のフォーラムが提供できるよう場を作っていきました。

○フラワーガーデンのクライアントの思い

当施設を利用しているクライアントによる体験談の発表には、施設長という立場ながら、毎回感動します。それぞれが今後の夢を持っていることに、今回も感動し、目頭が熱くなりました。彼女たちがフラワーガーデンに来た当初は、夢や希望もなく、絶望的でした。そんな彼女たちの変化や成長、またそれを自分で発表する姿に胸を打たれました。会場にも感動して涙を流されている方もいらっしゃいました。「本当に人は変われるんです！」と、私も声を大にして伝えさせてもらいました。

○1部：伊藤順子さん講演

1部は北海道で女性起業家の支援をされている、株式会社ワタラクシア代表取締役の伊藤順子さんに講演をお願いしました。「普段は、あまり自分のことは話さないんですけど…」と言いながら、ご自身の経験をたくさん話してくださいました。依存症は関係なく、人は皆同じ、「私らしさ」を見つけて生きていく、勇気や想いが伝わってきました。人生には挫折があり、紆余曲折しながら、自身のやりたいことを見つけて決心し、行動する姿は、私たちが回復プログラムを進める姿勢と同じだと、改めて感じました。

○2部：映画『ザ・ハンティング・グラウンド』上映会

アメリカで社会問題になっている、大学キャンパス内で起こる性暴力事件。この映画は名門大学での性暴力問題に、被害者の女子学生たちが勇気を持って立ち上がり、問題解決へ行動を起こしていく内容です。観ればみるほど、作品のすばらしさに気付きます。女性たちの回復力やエンパワメント…。一人の女性の勇気ある行動が、多くの女性に希望を与え、社会が変わってくれるのを待つのでなく、自らできることを探して行動する…。自身が経験したからこそできること、同じように困難を乗り越えた仲間が、今、困難の渦中にいる人へ、自身の体験を伝えることで得られる共感は、計り知れないほどの安心を与えてくれたことと思います。

改めて私ができることはないかと考えます。日本にも彼女たちのようなネットワークがあったらと思いました。最近、国内でも大学のサークルなどでの集団暴行や性被害というニュースを耳にします。被害にあわれた本人や、ご家族のみなさんへ、この映画をぜひ見てほしいと思いました。この想いを、想いのままにとどまらせずに行動します！

終了後、「フォーラムに参加できてよかった」と皆様からお話をいただきました。自分の人生への気付きや、自身にできることは何かないか、考える機会になったのではないかと思います。またぜひ北海道にメッセージを運んでほしいともお話してくださいました。この出会いに感謝します。

フォーラムの次の日には、出発前に札幌の名所をみんなで回ることもできました。今までの私たちにはできなかったことができた、その自信をこれからに活かしていきたいと強く感じています。
（フラワーガーデン代表　オーバーヘイム容子）

講演してくださった伊藤順子さん。やさしくて芯のしっかりした女性です。

利用者やスタッフがそれぞれの「物語」を正直に精一杯語ってくれました。

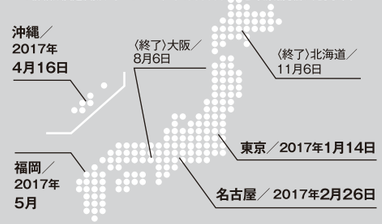
◆フラワーガーデン　東京フォーラム開催情報◆
2017年１月14日（土）
12：00～17：30（受付11：15～）
会場：ワテラスコモンホール（千代田区淡路町2-101）

総理大臣夫人
安倍昭恵さん

講演テーマ
「私を生きる　それぞれ、色とりどり。」
次回は東京にて開催予定。今年６月にフラワーガーデンにお越しくださり、関係を深めてきた安倍昭恵さんが登壇し、ご自身の経験も含め、自分らしく生きることについてお話くださいます。昭恵さんは愛情深く思いのある方、また何ごとも積極的に行動される方です。ぜひ一緒にひと時を過ごしましょう！　詳しくはニュースレター同封のチラシをご覧ください。

フラワーガーデンフォーラムスケジュール

「女性がもっと自分らしく、輝いて生きるために」をテーマに、フラワーガーデンのフォーラムが、映画『ザ・ハンティング・グラウンド』上映会とともに、全国をまわります。一人でも多くの方と時間を共有し、私たちの思いをお届けしたいと、一同はりきっています。お近くの会場へぜひお越しください。お待ちしています!!
※詳細は決定次第、ホームページやfacebookなどで情報発信いたします。



Information

2017年は道内7都市で開催!!

「依存症を知るセミナー」北海道キャラバン2017決定

「知ることは防ぐこと、知ることは解決への一歩」を掲げて、全国各地で開催してまいりました「依存症を知るセミナー」が、2017年は北海道へ出かけます。新たな出会いの輪に多いに期待しています。また東北キャラバンも予定しています。どうぞご期待ください！

依存症を知るセミナー
北海道キャラバン2017
スケジュール

各会場共通 13：30～16：00
参加費無料（資料代として1000円が当日必要）
事前予約不要
問合せ／ワンネスグループ奈良オフィス
TEL0745-24-7766

春	夏	秋
【函館】3月18日（土） 函館市地域交流まちづくりセンター （函館市末広町4-19）	**【北見】**7月8日（土） 北見市民会館 （北見市常盤町2-1-10）	**【旭川】**11月4日（土） 旭川ときわ市民ホール （旭川市5条通4）
【札幌】3月19日（日） 札幌市教育文化会館 （札幌市中央区北1条西13丁目）	**【帯広】**7月9日（日） 帯広市民文化ホール （帯広市西5条南11-48-2）	**【札幌】**11月5日（日） 札幌市教育文化会館 （札幌市中央区北1条西13丁目）
【稚内】3月20日（月・祝） キタカラKITAcolor （稚内市中央3-6-1）	**【釧路】**7月10日（月） 釧路市交流プラザ さいわい （釧路市幸町9-1）	

メインファシリテーター
ワンネスグループ副代表
セレニティパークジャパン代表
精神保健福祉士
三宅隆之
ラジオ局ディレクター、司法書士事務所勤務を経て、2011年ワンネスグループ入社。自身のギャンブル依存経験や海外団体との連携活動をもとに、施設現場での支援、セミナー開催、国内各所での提言などを行っている。NCPG（全米問題ギャンブル協議会）会員、IGCCB（国際問題ギャンブルカウンセラー認定委員会）日本代表

From Okinawa **南国の自然が持つ「回復の力」をより多くの方に…。**

沖縄・南城市に新デイケア施設『南城依存症ケアセンター』をオープン!

2016年はワンネスグループ全体にクライアントやスタッフが増え、また地域やメディアとのつながりや関係性が深まり、多くの出会いが生まれた1年となりました。特に沖縄ではクライアントが増加したこともあり、もっと広い場所でプログラムを受けてもらいたいと考えていたところ、自然あふれる沖縄・南城市にちょうどよい物件を紹介していただくことができ、新しい沖縄での拠点とすべく、移転計画が動き始めました。

春から準備がスタートし、約半年後の11月3日、『南城依存症ケアセンター』として、新しく一歩を踏み出すことができました。2階フロアを『セレニティパークジャパン沖縄』として、1階を12月1日より『沖縄GARDEN』として利用していきます。沖縄に薬物依存症回復を中心としたGARDENを開所することができ、今まで以上に専門的なプログラムをクライアントの方へ提供できると、スタッフも意欲にあふれています。この間、開設までに尽力してくださった皆さま、本当にありがとうございました。

実はこの施設、内装業の経験があるクライアントやスタッフを中心に、プログラムの一環として手がけました。それもあってオープン当日のみんなの感激もひとしお。力をあわせて作りあげた施設で、それぞれの回復のストーリーを紡いでいきたいと心新たにしています。

また2017年明けには、糸満市にクライアントが生活するグループホームが新しくオープンする予定です。新しいクライアントの受け入れ体制が順調に整い、さらに活気づいている沖縄チームです。

自然があふれるのびのびとした雰囲気の『南城依存症ケアセンター』。今まで生活していた場所を離れることも、回復には有効な方法です。地元の方だけでなく、離島や本島から、クライアントが集まっています。

漆喰の雰囲気を活かしたオシャレな内装。気持ちのよい空間で、仲間と一緒にプログラムを学びます。

高台に位置する施設、2階入り口の様子。建物の奥には沖縄のすばらしい自然が臨めます。ロケーションはバツグンです。

★クライアントの方の感想★

新しいデイケアに来て感じたのは解放感があり居心地がいいという事です。仲間との話もしやすくなり、リラックス出来ることがうれしいです。

内装作業開始時は壮大な事のように思えたのですが、仲間の力を借りて作業を進めることが出来ました。今その空間に仲間の笑顔があって喜びもひとしおです。

建物がおしゃれで開放感がある。それに伴ってか、ここへ来ての急成長を強く感じる。見えない何かの力が作用していると思った。

新しい施設でのプログラムの様子。大勢で一緒に学ぶことができるようになりました。

内装作業の様子。自分たちでできることを積極的に探して参加します。

スタートはガランとした空間でしたが、新しい施設をイメージしてワクワクしていました。

住所／南城依存症ケアセンター（沖縄県南城市玉城）
お問合せ／沖縄オフィス TEL098-987-1995（担当：江口）
※見学可能、事前にご連絡ください。

From Okinawa

沖縄県地域生活定着の研修会にて、ワークショップを行いました。

11月4日（金）in沖縄

沖縄はワンネスグループの拠点のひとつ。今までも地域支援センターと連携を取りながら、地域の依存症問題への取り組みを行ってきました。たとえば刑務所を出所するにあたり、薬物・アルコール・ギャンブルなどの依存症問題を抱えたままで、帰住先や就職のあてがなく、頼れる身寄りがない困窮者への支援「特別調整」活動も、その一例です。この活動を続けるなか、9月末に地域生活定着支援センターの方より、「依存症を抱える方への支援について研修会を開き、ワンネスグループのスキルを支援者に伝えてほしい」と、大変うれしい申し出をいただきました。

準備を重ねて迎えた当日、沖縄スタッフだけでなく、ワンネスグループのディレクター陣も集合し、研修をサポートしました。研修会は琉球病院精神科の福田貴博先生による、アルコール依存症を中心としたお話からスタート。その後、ワンネスグループ沖縄代表の位田が講演を行い、クライアントと“本気”で向き合うことを伝えました。この本気を体感してもらうために行ったのは…、“本気じゃんけん”。ワンネスグループの名物となりつつある“本気じゃんけん”で、支援員の皆さんと一緒にもりあがりました。

さらに午後にはグループにわかれ、奈良から三宅、オーバーヘイム両ワンネスグループ副代表も加わり、ワークショップを開催。依存症当事者のリアルな心情をお伝えしながら、具体的な対処法を学んでいただけたと感じています。

今回、地域支援員の皆さまに頼りにしていただけたことは、私たちにとって非常にうれしいことでした。今後も2回、3回と回数を重ね、連携を深めていきたいと考えています。

Report3 **「依存症は回復できる」奈良から全国へ発信11年。**

第8回奈良県「差別と人権」研究集会で、矢澤代表が‘プラス10の回復’を講演。

9月3日（土）in奈良

奈良で毎年開催されている「差別と人権」研究集会が、田原本青垣学習センターで開催され、ワンネスグループ代表の矢澤と副代表の三宅が参加しました。

矢澤は「依存症は回復できる。奈良から全国へ発信11年！」と題して記念講演を行いました。父親のアルコール依存や自身の薬物依存の体験を通して、依存症からの回復支援に関わっていること。2005年にワンネスグループを立ち上げ、現在、奈良のほか全国7か所12施設で、140名の施設利用者とスタッフ約60人と回復を目指していることなどをお伝えしました。矢澤代表自身、依存症を恥ではなく、自分へのギフトだと考えており、「ありのままの自分を否定せず、認めること」「アルコールや薬につながるのではなく、人とつながることが大切」と熱い思いを発信しました。

午後からの分散会は「依存症は正しく治療すれば回復できる。身近な人の理解と支援が！」というテーマでワンネスグループ副代表である三宅と、奈良県断酒連合会の新井和彦会長がパネラーとして出席しました。また奈良地区各施設の連携機関として、日ごろからお世話になっている『八木植松クリニック』の大本淳氏がコーディネーターを務められ、和やかに会が進行しました。三宅が「県内自助組織による依存症回復支援」について語ったほか、ワンネスグループの施設クライアント男女2名が、自らの心の葛藤や依存症克服の経験を語り、参加者の方々と意見交換が行われました。依存症について、正しい理解を広めることで、早期発見、早期回復につながりやすくなります。積極的に情報発信することの必要性をますます感じています。

「依存症は人生のギフト」と伝え、「人は必ず変わることができる」と力強く話ました。

具体的な依存症からの回復支援について語り、意見を交換した第2分散会。クライアントの方のお話も熱心に耳を傾けてくださいました。

会場には多くの方が集いました。奈良県はワンネスグループ発祥の地。地域の方との連携をこれからも大切にしていきます。

Information

「依存症で大切な‘人財’を失わないために」企業で依存症リスクマネジメント研修を積極的に行っています。

勤務中の飲酒運転による交通事故や横領事件など、メディアのニュースで取り上げられることも多く、企業にとってリスクマネジメントの課題と考えられます。こういった事件の背景に、実は依存症が絡んでいることが多いのですが、企業側では認識が低く、依存症は個人の問題として捉えられがちです。しかし企業にとって働く人たちは財産です。大切なスタッフが知らずのうちに依存症になり、問題を抱えたままでは仕事のパフォーマンスもあがりませんし、会社の看板に傷がつくほどのトラブルにいつ発展するとも限りません。

ワンネスグループではこういった考えから、企業の人事や総務担当者の方に依存症について正しく理解していただき、普段からメンタルヘルスサポートの一環として、依存症の予防や早期発見に努めていただきたいと、リスクマネジメント研修を各地で開催しています。今までにも官公庁や業界団体などで研修を実施し、11 月 17 日は神奈川県警備業協会様の研修会の席で、経営者・幹部の皆様に向けて講演を行いました。担当者の方に理解していただくことで、大切な社員の方の変調にいち早く気づいてもらう。何か不安なことがあれば相談に乗り、適切な専門機関を紹介することで、大きなトラブルを未然に防ぐ手段があります。企業においても「依存症を知る」ことが必要で、経営安定にもつながると考えます。

「仕事がよくできる人が依存症問題を抱えている場合も多い」と伝え、メンタルヘルスサポートの重要性を伝えました。依存症で休職した後、回復して職場復帰を果した実例を紹介しました。

依存症リスクマネジメント研修のお問合せ
ワンネスグループ奈良オフィス（担当：三宅）
TEL0745-24-7766

Report4

フラワーガーデンが手作り品で、地域イベントのバザーに参加しました。

10月16日（日）in奈良

フラワーガーデンは施設がある地元地域との交流を普段から積極的に行っています。先日は橿原市役所の方よりお声がけいただき、「橿原市健康と社会福祉の祭典 ふれあい、いきいき祭」に参加しました。市民が参加する楽しいイベントです。

数カ月前からこの日に向けて、フラワーガーデンのみんなで手編みのコースターや絵ハガキなどの制作に励みました。クライアントの中には、編み物も絵を描くことも初めてという方もいますし、みんな得手不得手があります。しかし、みんなで取り組むから興味がわいて来たり、挑戦したいと思えたり、ここでも共同体としてのメリットが感じられます。当日にはさらにスイートポテトやドーナツなどのお菓子を手作りして、小物と一緒に販売、会場に来られた皆さんに喜んでいただきました。

何かをみんなで作り上げて達成することは、依存症回復においても大切なことです。販売を担当したり、看板を持って声掛けをするなど、それぞれが役割を持って行動しました。市民の皆さんとも交流することができ、新しいチャレンジに、みんな輝いていました。自分が誰かの役に立てることは、生きる喜びです。これからも地域の皆さまと交流を持ちながら、クライアントの方がフラワーガーデンを卒業する時に、社会にスムーズに戻れるようサポートしたいと思います。

当日はエプロンをかけておもてなし。スイートポテトは「ワンネスの里農園」から送ってもらったサツマイモで作りました!農園の皆さん、ありがとうございます!

Report5 回復支援のプロとしてさらなる活躍を目指して、

問題ギャンブルカウンセラー国際資格にチャレンジ!

10月11日（火）in奈良、10月17日（月）in沖縄

ワンネスグループでは、依存症回復のための秀逸な海外プログラムを導入し、日本の文化に即した形で提供してきました。また国際規格による依存症回復支援者資格の国内導入、またスタッフの資格取得というチャレンジも続けています。関係性の深い団体のひとつ、アメリカに本部を置く国際問題ギャンブルカウンセラー認定委員会（IGCCB）は、1984年に設立されたギャンブル依存症カウンセラーの資格認定組織で、アメリカ国内外でもっとも広く認められている専門組織です。ワンネスグループはIGCCBとパートナーシップの合意書を交わし、こちらの資格が取得できる日本で唯一の団体として、国内での普及に努めてきました。10月に国際資格 ICGC-1（国際認定ギャンブルカウンセラー）について、国内初めての認定試験が終わりましたの報告いたします。

日本への国際資格導入を打診したのが2014年のこと。セレニティパークジャパンが日本の窓口となることが決定し、2014年10月には委員会代表のロリーン・ルーグル博士（メリーランド大学医学部問題ギャンブルセンタープログラムディレクター）を奈良にお招きして導入を開始し、カリキュラムを日本で展開しました。その後、資格試験の準備を重ねて、ようやく今回、試験実施の運びとなりました。

受験者はワンネスグループスタッフ10名。それぞれに試験勉強に励み、受験しました。国際資格を取得することで、スタッフは依存症専門家としての自覚が深まり、将来的には活躍の場を国内外へ拡大することも可能になります。一方、クライアントには、資格取得者より高度なプログラムやカウンセリングを提供することができるようになります。2017年はICGC-1の第2期、上位資格のICGC-2の講習を実施する予定です。国内に専門家が増えてくれることを励みにこの資格を大きく育んでいきたいと考えています。

2014年に奈良にお越しくださり、カリキュラムを展開してくださったロリーン・ルーグル博士。ICGCは座学だけでなく、実践を重視した内容になっており、クライアントへのサービス向上にもつながります。

Report6

スポーツの秋! ワンネスグループソフトボール部優勝!

10月15日（土）in奈良

ワンネスグループには季節ごとのイベントやスポーツを行って、全員で楽しむプログラムがあります。身体を動かして汗をかく、チームプレイでもり上がることなどを大切にしたスポーツはとくに人気です。10月には奈良の施設利用者のチームと、弁護士会や関係者の方々とのソフトボール大会が、天理市の白川ダム運動場にて開催されました。クライアントからの参加者は13名。誰がどんなことに得意なのかを話し合い、試合中はメンバー交代をしながら全員が試合に参加しました。ワンネスチームも相手チームも、お互い本気で投げて打って、守って走って…接戦に力が入ります。メンバーが明るく元気に楽しんでいる姿に、依存の症状に苦しんでいた時が想像できないほどの輝きを感じました。

★クライアントの感想より★

スポーツが純粋に楽しめました。外部の人と交流を持つことは、施設の中ではなかなかできないので、それもよかったです。また参加してみたいです。

過去は、人と楽しむために、自分にはクスリが必要だったので、薬物を使わずにスポーツをしたことがありませんでした。クスリを使わない状態で参加して、みんなで笑っていられてよかったですし、おもしろかった。薬なしで、一緒に過ごすことができることが、とても新鮮でした！　相手チームに感謝です。

初めて参加しましたが、お互い本気で、ピッチャーも早い玉を投げて、すごく緊迫した、おもしろい試合でした。前方にフライが上がってきて、とっさにスライディングをしたら、顔から土についてしまって、こすってしまいました。「絶対勝つんだ」という本気の思いが、思わずプレイに出たのだと思います。なんで今まで参加しなかったんだろうというぐらい、おもしろかった!　これからも絶対出ます。

優勝トロフィーを手にするクライアント。チームで協力した経験が思い出になります!

Report7

人権パートナー養成講座にて女性の生きづらさを語りました。

9月7日（水）in奈良

奈良県では生涯学習の一環として、「人権パートナー養成講座」を開講しています。年間を通じてさまざまなテーマが設けられており、子どもの権利や性的マイノリティ、在日外国人問題と差別、超高齢化社会など、現代社会の課題が感じられるラインナップです。ワンネスグループも講座を担当させていただいており、今年はフラワーガーデン施設長のオーバーヘイム容子が「女性が抱えやすい生きづらさ」について講演しました。

参加者は県や市町村役所の担当者の方や、生涯学習に興味をお持ちの一般の方、約40名でした。まず「生きづらさとは何か」、女性と男性それぞれの生きづらさの特徴をお話し、参加者の方にもそれぞれが抱えている生きづらさについて自分自身で考えてもらいました。男らしさや女らしさといった、社会的なジェンダーの差を減らしていくことは生きづらさを解消するヒントです。また生きづらさの解消のために、アルコールや薬物、ギャンブルといった依存症につながる不健康なものに頼らないよう、社会とのつながりを強化して自分自身を守ってほしいとお伝えしました。

ワンネスグループ では、依存症に限らず、生き方に関するお話をする機会をいただくことが増えてきました。私たちが日ごろ学んでいることを、多くの方にお伝えしていきたいと張りきっています。

「生きづらさ」という言葉が少しずつ社会に浸透しています。言葉としての理解が深まることで、つらい状況が理解されやすくなると考えています。

ワンネスグループ新スタッフ紹介

「マイナス10からプラス10の回復」を続け、ワンネスグループスタッフへの道を志したメンバーたち。
スタッフとして輝く姿は、今、苦しみの中にある方の希望です。彼らからのメッセージをご紹介します。

清水直人／麺屋拳玉　沖縄

今年の7月、沖縄にオープンした『麺屋拳玉　沖縄』へスタッフとして入りました。今までお世話になった矢澤代表へ少しでも恩返しができるチャンスをもらい、志事（しごと）を手伝い、3年間の家族への埋め合わせし、ワンネスグループを盛り上げたいという一心です。私はワンネスグループに助けてもらいました。今度は助ける立場として、『麺屋拳玉　沖縄』を就労プログラムの場所として、仲間に経験を伝えて行こうと思います。

木村勇也／セレニティパークジャパン奈良

私は2年4カ月前に、ワンネスグループで回復に繋がりました。プログラムで自分自身の感情に触れていくことや、自分の中にある「傷」を癒すことで、自分の成長が実感しました。自分の居場所なんてないと、自分自身と周囲を恨み続けた生き方から、人への感謝と信頼、そして自分自身を愛せる人間へと変わり始めました。スタッフとして、プログラムを通じて、ポジティブな体験や、自分を愛していくその瞬間に出会うお手伝いをしていきたいです。

溝邊明朗／ワンネスの里農園

今年7月から、三重県伊賀の農園で、スタッフ見習いをさせていただいています。自分はGARDENにお世話になって約5年になりますが、自分の生きづらさの根本を、逃げの気持から見つめずに社会に戻ったため、薬物を再使用して3年前に再入寮しました。プログラムを受け直し、約1年半前に農業プログラムに参加し、ありのままの自分を見つめ直してきました。過去はありのままの自分が本当に嫌いでしたが、少しずつですが、ありのままの自分が好きになってきました。今も自分の生きづらさはありますが、農業スタッフ見習いとして、仲間と気づきや共感を得ながら、共に回復を目指していきたいと思います。

河並徹／南城依存症ケアセンター

回復に繋がったのは約3年半前になりますが、プログラムに対しての認識は最初の頃はとても甘く、「こんなもので人は変わるのか?」と半信半疑の部分が強かったです。しかし、変化していくことへの面白さをプログラムを通して発見し、そして、矢澤代表が行なったワークショップで自分がやりたいことを見つけることができました。今は私の夢のため、クライアントが自分の道を歩むためのサポートをさせていただいていることは、ここでしか出来ないことなので、非常にワクワクしながら日々過ごしています。そして、これからも自分の探求仲間と共に成長のプロセスを楽しみたいと思います。

稲村聡一／南城依存症ケアセンター

ワンネスグループのプログラムに繋がって、一番よかった事は、幼少期に置き去りにしてきた本当の自分に出会えた事です。本当の自分との繋がりを持てたことで、本当は自分はどうしたいのかに自分で答えが出せるようになり、結果として何かに依存して問題に向き合わない様にする生き方と決別できました。私がワンネスで得た気づきが、少しでも今苦しんでいる仲間の力になればと思い、施設職員として、仲間が本当の自分と繋がれるお手伝いをさせていただいています。ワンネスには解決策があります。

川端理之／GARDEN

プログラムを受けて、自分が生きづらい生き方をしてきたことに気づくことができました。過去の自分は、自分が傷ついていることにも無関心で、虚無感や退屈を埋めるために薬物を使用していました。傷ついている自分のために自分が何をできるか。それを教わる事ができたと思います。自分と同じような生き方をしている人へ、スタッフとして自分の経験を伝えられることに、自分自身が癒され喜びを感じています。誰かのためが、自分のためであることに感謝しています。

高尾恭輔／ワンネスグループ沖縄本部

依存症回復に繋がるプログラムを受けて一番よかったことは、過去にやりたいことを我慢して、何も言えなかった一人ぼっちの自分を迎えに行けたことでした。周囲にばかり気を配り、自分自身の意図とまったく繋がれていなかった生き方に別れを告げて、自分自身と一致する新しい生き方のコツを少しずつ手に入れることができました。スタッフとして今度は自分の生き方を、外部に発信していけるチャンスが巡ってきたと思っています。僕の存在が1人でも多くの人の勇気になるよう、これからもワンネスグループの誇りを持って情報発信していきます!

中條裕美／フラワーガーデン

今年の7月からアプレンティス（スタッフ研修）になりました。私は薬物依存症で約20年間薬が止まらず、施設での生活は2度目になります。施設でプログラムと仲間に出会いましたが、初めは誰のことも自分さえも信じられませんでした。施設を逃げ出し、薬の再使用を経て、自分自身と真剣に向き合うことに取り組みました。仲間の中で愛を感じる事、助けてと素直に言えるようになれたのは、ここが安心で自分の居場所だと思えたからです。これからは、依存に苦しむ女性の手助けをすることが、私自身の新しい人生の始まりと思い、日々、生きがいを見つけて成長していきます。

國澤直樹／CURAデイケアセンター

ワンネスグループの回復支援プログラムに繋がって2年以上が過ぎ、自身の変化に自分が一番驚いています。過去2度の逮捕や服役を経験し、薬物はもう止めることができないと思っていました。しかし心の片隅では、止めたい、立ち直りたい、心から笑いたいと願う自分もいました。そんな僕に、自分の人生を生きることや希望を与えてくれたのは母親でした。プログラムのなかで、スタッフからの本当の愛、時には厳しさもあり、僕は愛されていた、愛されている事に気が付きました。僕は『人は変わる事ができる』と確信しています。だから絶対に、自分の回復も、まだ苦しんでいる人の回復を支えることも諦めません。それが僕の新しい人生です。

日下はるか／フラワーガーデン

10月からアプレンティス（スタッフ研修）になりました。約2年前に施設に繋がり、薬とアルコールは止まっていましたが、男性依存の問題を抱えていて、最初は女性の中にいるのは苦痛で恐かったです。でもDVの痛みを知るスタッフや仲間と関わり、自分を見つめ、アミティワークで幼少期から誰にも言えなかった過去を話す事ができました。人が怖くても弱くてもいい。助けを求められ、自分を大切にできる人になりたいと思いました。アプレンティスとして色々感じた事は、なかったことにせず話を聞いてもらい、仲間と関わり、自分がここにいて安心や安全を感じていることを伝えたいです。女性ならではの成長をしたいです。